

令和8年度 府中市立府中第九小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 漢字の学習や練習によく取り組むが、普段の作文やノートに習った漢字を活かすことが難しい。 - 自分の考えや思いを読み手に伝わるように文章に表現することを苦手としている子がいる。 - 自分が書きたいことを文章で正確に表現したり、文章から物事を理解したりすることが苦手な児童が多い。	- 覚えるポイントの確認、定期的な小テスト、再テストの実施を通して、漢字の定着を図る。【発見】 - 普段から習った漢字をすすんで使うような言葉かけを行い、活用する力を養う。【表現】 - 文章の書き方の例をいくつか児童に示し、文章を書くことへの抵抗感を減らす。【表現】 - 書いた文章を友達と共有したり、読み返したりする活動を取り入れ、相手意識を高める指導を行う。【表現】 - 文章を書いた後は必ず読み返して、間違いを直す指導に取り組む。【発見】 - 書くことが苦手な児童には、簡単な質問をして、何を書けばいいか想起させながら取り組ませる。【発見】		
算数	- 文章を読んで、問題の場面を理解することが苦手な児童がいる。 - 長さや大きさに関しては実生活と結びつけることができず、身近なものの単位の感覚がつかめない児童がいる。 - 四則計算など計算の仕方は分かるが、ケアレスミスが多い児童が見られる。特にひき算の繰り下がりの仕方について課題がある。	- 考えるための手立てである式、言葉、図、表などを活用して自分の考えをもてるようにさせる。【発見】【表現】 - 算数学習の基礎となる生活体験、算数体験を意図的に取り入れる。【対話】 - 基礎、基本の定着を図るために、家庭学習を活用して算数の計算問題に繰り返し取り組ませる。【発見】 - 文章問題の重要な表現に線をひく、マークをつける習慣をつくる。【表現】		
理科	- 根拠のある予想や考察等を自分の言葉でまとめることが難しい。 - 実験や観察を順序だてて行い、まとめることが難しい。	- 根拠をもって書いている記述を価値付けたり、よく書いている児童のノートの内容を共有したり、ノートへコメントを通して助言したりし、自分の言葉で表現できるよう促す。【表現】 - 文章の型を提示し、思考を整理しながら自分のことばでまとめることができるようにする。【表現】 - 動画やイラスト、ICT 機器を活用し、様々な角度から考察する経験を培う。【発見】 - 実験方法が分かるようなワークシートの工夫を行う。【発見】		
社会	- 自分の考えを表現したり、学習したことを自分の言葉でまとめたりする。 - 以前に学習したことを活用することが苦手な児童がいる。 - 資料から情報を正しく取り出したり、取り出した情報を比較・関連付けたりすることが難しい。	- ICT 等を活用して資料の提示の仕方や活用の仕方を工夫し、何を読み取ればいいのか明確にする。ペア活動やグループワークを取り入れ、考え方を広げたり、深めたりする機会を増やす。【発見】【対話】 - 学習のまとめに、ポスターや新聞、タブレット PC のスライドを作る活動を行い、自分の考えや疑問、さらに知りたいことなどを表現させることで、学習したことを活かす場を設ける。【発見】【決定】 - 資料を読み取る時には、どのようなことに気を付けて見ればいいのか分かるように、ICT 機器等を活用して視点を与える。【発見】 - 比較・関連付けをする時には、「どこが似ている」「どこは違う」など相違点をはっきりさせる。【決定】		
音楽	器楽や歌唱の学習において、必要な音符の長さの理解や、リズム打ちが定着しづらい児童がいる。【発見】	音符カードやリズムカードを使い、音符の長さについて理解を深めたり、友だちと拍にのり、リズム打ちをしたりして楽しみながら理解ができるようにつとめる。【対話】【表現】		
図画工作	絵の具の扱いなど既習事項を活かして工夫することが苦手な児童が見られる。	前学年までの材料や用具についての経験や技能を生かして表すなど、既習事項を生かした指導を繰り返す。【表現】【発見】		
体育	チームで活動する際、話し合いが上手にできないことがある。	教師から話し合いの仕方や話型を提示し、授業を進める中でよい話し合いをしているグループを称賛し、価値づけていく。【対話】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。